

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社淀川製鋼所 市川工場
------------	-------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

直接燃焼式によるVOC処理を導入していますが、カラー鋼板の生産量が昨年度に比べ増加したため、削減目標を達成できませんでした。目標達成に向けて塗装設備の1基に蓄熱方式を導入しました。(平成24年2月)

効果を見極め後、もう1基について蓄熱式の導入を検討中します。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。